

2009 年度活動報告

2009 年度の東京災害ボランティアネットワークは、ネットワーク設立の趣旨である「顔の見える」連携と協働を強く意識しながら、様々な取り組みを進めてきました。特に、2009 年 9 月に取り組んだ首都圏統一帰宅困難者対応訓練では、これまで同様、数多くの参加者を得られることになりました。

また、地域での防災講座への講師派遣、組織・団体からの事業委託にも応えながら、具体的な活動を主体的に「提案していく」ことに力を注いできました。

東京災害ボランティアネットワークは、これからも来たるべき災害に備えるため、参加団体のみならず、数多くの団体・組織・市民と「顔の見える」関係を築いていきます。



写真右上：2009 年 9 月に取り組んだ帰宅困難者対応訓練。2009 年は埼玉県内、神奈川県内のコースを合わせて 7 コースの訓練となりました。

写真上：日米災害 NPO 交流研修ツアーでのひとコマ。墨田区の防災団地の前での記念写真

写真右下：団体・地域での講座・研修事業も例年通り数多く実施した防災のまち歩き



■首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討

- ・東京で大災害が発生することが避けられないことを踏まえ、東災ボ内団体の社会的資源の確認と具体的な対応策を検討しました。
- ・災害時に想定される具体的な課題に対し、市民と関係機関、民間組織・団体の協働の訓練を実施しました。

【2009年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実施報告】

日時：2009年9月26日(土) 10:00~17:00

場所：東京コース：日比谷公園～都立光が丘公園 19.8km (東京都練馬区)
千葉コース：日比谷公園～行徳駅前公園 18.2km (千葉県市川市)
埼玉コース：日比谷公園～川口駅西口公園 17.6km (埼玉県川口市)
神奈川コース：日比谷公園～等々力緑地 16.0km (神奈川県川崎市)
埼玉県内コース：滝野川公園～武蔵浦和駅ラムザ前広場
神奈川県内コース①：横浜市沢渡中央公園～川崎市等々力緑地
神奈川県内コース②：大和市大和公園～藤沢市藤沢市役所

内容：徒歩帰宅訓練 参加者数：3,558名
エイドステーション設置訓練 参加者数：1,070名
情報伝達訓練他 参加者数：146名 総参加者数 4,774名

主催：2009年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実行委員会

主管：東京災害ボランティアネットワーク

共催：東京都石油業協同組合、JB 日本接骨師会、東京労働者福祉協議会、神奈川労働者福祉協議会、東京ボランティア・市民活動センター、連合東京、連合埼玉、連合千葉、連合神奈川、東京都生活協同組合連合会、東京 YMCA、シャンティ国際ボランティア会、自立支援センターふるさとの会、真如苑 SeRV、中央労働金庫、全労済東京都本部、(株)レスキューナウ、日本防災士会、地域創造ネットワークジャパン、埼玉県

後援：東京経営者協会/東京商工会議所/東京都中小企業団体中央会/東京工業団体連合会/東京都商工会連合会/東京都/千葉県/神奈川県/特別区長会/千代田区/中央区/港区/江東区/江戸川区/文京区/豊島区/北区/新宿区/中野区/練馬区/品川区/大田区/浦安市/市川市/川口市/蕨市/戸田市/さいたま市/川崎市/横浜市/大和市/藤沢市

協賛：尾西食品株式会社

協力：エイドステーション設置協力：二松学舎大学/㈱トーハン/西早稲田地域交流館/㈱クラヤ三星堂/東京日産自動車販売㈱谷原支店/ホテルカデンツァ光が丘/築地本願寺/都立東高校/日本大学/明治学院大学/荏原特別養護老人ホーム/アルプス電気㈱

物品提供協力：フード連合/㈱ニチレイ・ニチレイ労働組合/不二家労働組合/フジパン労働組合/全日本たばこ産業労働組合/明治製菓労働組合/明治製菓㈱/㈱マルハニチロ食品・マルハユニオン・ニチロ労働組合/明治乳業労働組合/キリンビール労働組合/全森永労働組合/敷島製パン労働組合/味の素㈱・味の素労働組合/サッポロ飲料㈱・サッポロビール労働組合/木村屋総本店労働組合・㈱木村屋総本店/コープとうきょう/パルシステム生活協同組合連合会/㈱SGラボ/清泉女子大学

運営協力：ちよだボランティアセンター/新宿ボランティア・市民活動センター/中野ボランティアセンター/練馬ボランティア・市民活動センター/西東京市社会福祉協議会/江東ボランティアセンター/江戸川区ボランティアセンター/浦安市社会福祉協議会/浦安災害ボランティアネットワーク/市川市社会福祉協議会/市川災害ボランティアネットワーク/みなとボランティアセンター/大田区社会福祉協議会ボランティア・区民活動センター/文京ボランティア・市民活動センター/豊島ボランティアセンター/北区ボランティア・NPO ぶらざ/北区社会福祉協議会/川口市社会福祉協議会/連合東京東部地協/連合東京西北地協/連合東京中南地協/連合神奈川川崎地域連合/川崎労働者福祉協議会

資機材・運搬協力：太陽工業㈱/ヤマト運輸労働組合北東京支部/全日通労働組合東京支部中部地域協議会/ジェイアール東日本物流労働組合



恒例の訓練となりつつある首都圏統一帰宅困難者対応訓練。行政機関や関係団体からも問合せが多く、社会の関心を集める取り組みとなっています。



■地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組み

・地域や組織・団体の講座・研修に講師派遣・プログラム提供をおこなうことで、防災力向上に向けた取り組みを実施しました。

【講師派遣】(24回)

2009.04.12	防災士研修センター	防災士研修	講師派遣	*1
2009.05.16	連合千葉	災害V講座	講師派遣	
2009.05.16	いたばしVC	災害V講座	プログラム提供	*2
2009.06.04	嘉悦大学		ゲストスピーカー	
2009.06.20	いたばしVC	災害V講座	プログラム提供	*2
2009.07.20	震災がつなぐ全国ネット		原稿執筆	
2009.08.08	静岡V協	災害V講座	講師派遣	*3
2009.08.17	調布JC	防災市民講座	講師派遣	
2009.09.05	静岡V協	災害V講座	講師派遣	*3
2009.09.27	金光教東京センター	防災市民講座	講師派遣	
2009.09.29	連合		原稿執筆	
2009.10.17	静岡V協	災害V講座	講師派遣	*3
2009.10.21	九州電力(株)	防災研修	講師派遣	
2009.10.29	連合社会政策局	防災研修会	講師派遣	
2009.12.04	松戸市生涯学習課	防災市民講座	講師派遣	
2009.12.05	千葉県	災害V講座	講師派遣	*4
2009.12.11	特別区職員研修	防災講座	プログラム提供	
2009.12.19	連合千葉	災害V講座	プログラム提供	
2010.01.27	東京都社協	災害対策検討会	講師派遣	
2010.02.02	調布VC	調布VN準備会	講師派遣	*5
2010.02.03	調布VC	調布VN準備会	講師派遣	*5
2010.02.17	埼玉県	災害V研修	講師派遣	
2010.02.27	静岡V協	図上訓練	企画員派遣	
2010.03.17	千葉県白楊高校	防災市民講座	講師派遣	

*1：防災士研修関東会場での講座

*2：いたばし総合ボランティアセンター災害V講座(全8回)のコーディネート

*3：静岡県V協会実施の静岡県内3カ所での講座

*4：千葉県災害対策コーディネーター養成講座(千葉県内 1 カ所)

*5：調布 VC の災害 V ネットワーク準備会講座(2 回)のコーディネート(プログラム提供)

なお、上記事業以外にも、各団体・地域が取り組む防災講座・研修にあたり、プログラムの提案・研修内容へのアドバイスなどを実施しています。

【委員派遣】

千代田区「帰宅困難者避難訓練」実行委員会

2009.07.17	第一回実行委員会	委員派遣	福田
2009.10.30	第二回実行委員会	委員派遣	福田
2009.12.11	第三回実行委員会	委員派遣	福田
2010.01.15	訓練当日	委員派遣	福田
2010.02.24	第四回実行委員会	委員派遣	福田

東京都共同募金会配分委員派遣

内閣府「防災ボランティア活動検討委員会」

2009.11.08	内閣府合同庁舎	委員派遣	福田
2010.03.18	内閣府合同庁舎	委員派遣	上原・福田・藤野(東京都生協連)

東京ボランティア・市民活動センター運営委員会

2009.05.13	2009 年度第一回運営委員会	委員派遣	福田
2009.12.14	2009 年度第二回運営委員会	委員派遣	福田
2010.02.24	2009 年度第三回運営委員会	委員派遣	福田

東京ボランティア・市民活動センター企画研修委員会

2009.06.02	2009 年度第一回企画研修委員会	委員派遣	福田
2010.02.19	2009 年度第二回企画研修委員会	委員派遣	福田

【委託事業】(2 事業)

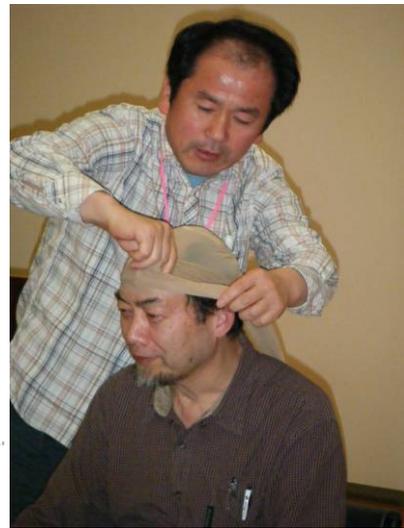
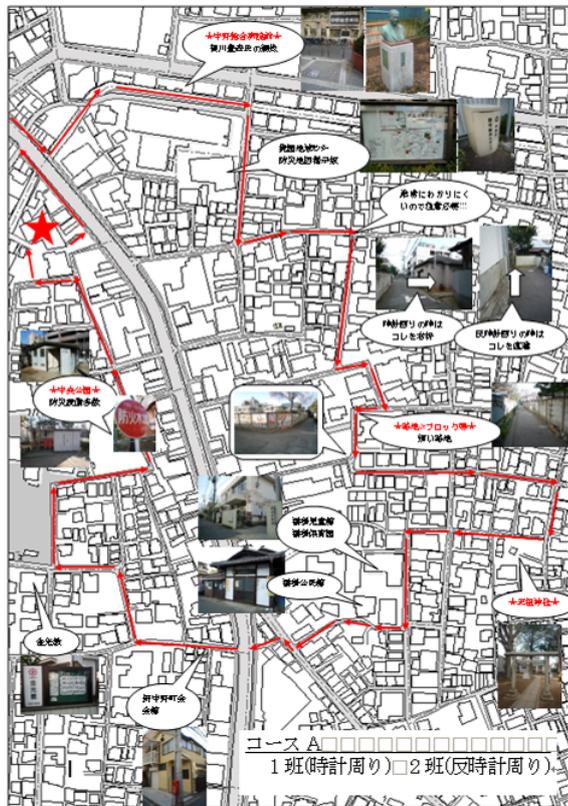
・地域や組織・団体といった「集団として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催しました

板橋おたがいさまネットワーク(3 回)

2010.01.28	板橋おたがいさまネットワーク	防災勉強会
2010.02.14	板橋おたがいさまネットワーク	防災まち歩き
2010.03.07	板橋おたがいさまネットワーク	ミニシンポジウム

東京都生協連(8回)

2009.07.18	COOP 災害ボランティア-養成講座	第一回	開講式／記念講演
2009.08.22	COOP 災害ボランティア-養成講座	第二回	池袋防災館
2009.09.26	COOP 災害ボランティア-養成講座	第三回	徒歩帰宅訓練
2009.10.24	COOP 災害ボランティア-養成講座	第四回	防災まち歩き体験
2009.11.14	COOP 災害ボランティア-養成講座	第五回	炊き出し／応急救護体験
2009.12.12	COOP 災害ボランティア-養成講座	第六回	普通救命講習／AED講習
2010.01.23	COOP 災害ボランティア-養成講座	第七回	災害救出劇鑑賞
2010.02.20	COOP 災害ボランティア-養成講座	第八回	修了式／振り返り



防災まち歩きプログラムを中心に、炊き出し体験・応急救護、そしてシミュレーション体験など、様々な市民プログラムを実施してきました。対象も、子どもから大人まで、団体の職員・スタッフから一般の方まで様々です。

■ 広く市民の方々の防災・減災意識啓蒙に向けた取り組み

・より多くの様々な主体が参画・協働できるイベント型啓蒙活動やシンポジウムを実施しました。

◇防災・減災シンポジウムの開催・企画協力等

「被災者支援を知る ～関東大震災における被災者救援活動と賀川豊彦氏の仕事～」

日 程：2009年5月30日(土) 15:00～16:00

場 所：東京 YMCA 東陽町センター

主 催：東京災害ボランティアネットワーク

講 師：杉浦秀典 氏

(財)雲柱社 賀川豊彦記念「松沢資料館」学芸員

参加者：約 50 名



数多くの社会課題に挑戦した賀川氏。1923年の関東大震災時には被災者救援活動に取り組みました。東災ボの参加団体には賀川氏と縁のある団体も多いようです。

関東大震災における被災者救援事業と賀川豊彦氏の仕事

2009年度東京災害ボランティアネットワーク総会記念講演のお知らせ

被災者支援を知る



私たちは記憶し続けようと思えます。高い目的の追求の中にあつた「いのちとくらし」を中傷の嵐のなかで守り抜いた。この人々の行動を伝える思いのこもった私たちの報告をお願いします。

2009年5月30日(土)15:00～16:00
東京YMCA東陽町センター視聴覚室
参加費無料

講師：杉浦秀典 氏 (財)雲柱社 賀川豊彦記念「松沢資料館」学芸員

なお、5月30日(土)13:00～14:40で東京災害ボランティアネットワーク2009年度総会を開催しております。是非ご出席ください。



主催：東京災害ボランティアネットワーク
協賛：(財)雲柱社、(財)松沢資料館、(財)東京YMCA、(財)東京YMCA東陽町センター、(財)東京YMCA東区センター、(財)東京YMCA中央区センター、(財)東京YMCA港区センター、(財)東京YMCA目黒区センター、(財)東京YMCA世田谷区センター、(財)東京YMCA多摩区センター、(財)東京YMCA調布区センター、(財)東京YMCA八王子区センター、(財)東京YMCA町田市センター、(財)東京YMCA川崎市センター、(財)東京YMCA横浜市センター、(財)東京YMCA名古屋市センター、(財)東京YMCA大阪市センター、(財)東京YMCA神戸市センター、(財)東京YMCA京都市センター、(財)東京YMCA福岡市センター、(財)東京YMCA仙台市センター、(財)東京YMCA札幌市センター

お問い合わせ：東京災害ボランティアネットワーク事務局 (TEL) 03-5561-1111

◇1.17 イベントの開催

毎年1月17日前後に全国的に開催されている「1.17 灯りのつどい」。東京災害ボランティアネットワークでは、2000年から取り組み続けているイベントですが、多くの団体とともに連携・協働するイベントとして定着しています。

いま、わたしたちに、できること。2010 KOBE MEMORIAL 1.17 灯りのつどい

日 時：2010年1月16日(土)16:00~18:00

場 所：東京国際フォーラム地上広場

内 容：開会セレモニー／1.17 灯りのつどい／負傷者対応訓練／展示／炊き出し
／煙ハウス体験／防災クイズ／スクリーン映像

参加者：一般参加者 1000名

ボランティア参加 200名

主 催：東京災害ボランティアネットワーク

共 催：(株)東京国際フォーラム／東京ボランティア・市民活動センター

後 援：東京都／ちよだボランティアセンター

協 力：日本ハンドベル連盟／玉川学園グリーハンドベルクワイア／イオン1%クラブ
／環境NPOベルデ／丸の内消防署／東京都生協連／全労済東京都本部／連合東京
／シャンティ国際ボランティア会／東京YMCA



阪神・淡路大震災から15年という節目を迎えた今年。犠牲者を悼むと共に、防災・減災活動への思いを新たにすイベントとなりました。



■参加団体、および関係団体との連携を深める活動

東京災害ボランティアネットワークの全ての活動は、参加団体、および関係団体との信頼関係に基づく連携と協働によって実施されています。首都圏統一帰宅困難者対応訓練や、1.17 イベントはその最たる取り組みではありますが、2009 年度は、一昨年立ち上げられた日米災害 NPO 交流研修ツアーを契機とした「災害に学ぶ～ニューオーリンズと三宅島～」プロジェクトとして、日米の被災地交流に取り組んできました。

「災害に学ぶ～ニューオーリンズと三宅島～プロジェクト」 訪日プログラム

日時：2009 年 4 月 16 日(木)～4 月 20 日(月)

場所：都内各所

内容：墨田区防災拠点視察、公開フォーラム、三宅島島民との交流 他

主催：災害に学ぶ～ニューオーリンズと三宅島～プロジェクト

参加：東京都生協連／連合東京／東京ボランティア・市民活動センター／東京 YMCA
／みやけじまく風の家＞のメンバー／明治大学危機管理研究センター／三宅村
／東京災害ボランティアネットワーク



2008 年度は訪米をしましたが、2009 年度は、来日していただき、日本の防災活動について共に学びました。また、三宅島の島民の方々とも交流ができました。

■三宅島支援センター、みやけじま＜風の家＞を通じた被災地支援

東京災害ボランティアネットワーク、東京ボランティア・市民活動センター、東京ハンディキャップ連絡会、三宅島社会福祉協議会によって設立された「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」は、2005年2～8月の第一期三宅島支援プログラム—三宅島帰島支援ボランティア活動—を遂行した後、高齢者・障害者世帯への復興支援となる第二期支援プログラム—みやけじま＜風の家＞運営—を2005年10月より推進しています。

東京災害ボランティアネットワークは、三宅島支援センターの一員として、主体的にこれら活動の運営を担いました。

また、2009年度は、＜風の家＞のより自主的な開設を目指し、島内外の関係者の方々と慎重に議論を重ね、2010年2月に新しい運営方法での再スタートとなりました。

新しい運営方法に伴い、「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」の機能は、東京災害ボランティアネットワークへ移行します。

みやけじま＜風の家＞運営支援・みやけじま＜風の家＞運営支援

2009年04月	ニューオーリンズ訪日団受入
2009年05月	自治労東京都本部「三宅島復興支援交流会」
2009年06月	三宅島サイクルロードレースにて錦野旦さん来訪 三宅小学校体験学習受入
2009年07月	牛頭天王祭 観覧会開催
2009年08月	富賀神社大祭 観覧会開催
2009年09月	一橋大学町村ゼミ来所 パルシステム連合会来所
2009年10月	三宅村「敬老会」参加 三宅島モーターサイクルフェスティバル見学
2009年12月	年末お掃除ボランティア開催 年末交流もちつき会開催
2010年02月	新しい運営での開所式
2010年03月	明治大学ガバナンス研究科来所

みやけじま＜風の家＞

開設日 : 毎週火曜日・金曜日

開設時間: 午前9時00分～午後15時00分 (2010年2月5日より)

三宅島年末お掃除ボランティア

2005年の年末から始まったこの「三宅島年末お掃除ボランティア活動」も2009年で5回目となりました。2005年2月から8月まで約半年間におよんだ帰島支援ボランティア活動。多くのボランティアの方々に参加していただき、支援する者と支援される者の壁を超えた交流を持つことができました。

2005年10月からは、復興支援として、島民の加齢と島の高齢化課題に取り組む試みとして島民自身が運営する「みやけしまく風の家」を通じて様々な活動を展開しています。

今回の「三宅島年末お掃除ボランティア活動」は、例年通り2週に分けて東京からの参加申込が50名に上りました。残念ながら、例年、このお掃除V活動に参加していただいた三宅中学校の生徒が新型インフルエンザの影響で急遽参加できないという事態になってしまいましたが、プログラムは概ね滞りなく実施することができました。

日時：2009年12月04日(金)～06日(日)

2009年12月11日(金)～13日(日)

場所：三宅島

主催：みやけしまく風の家／東京災害ボランティアネットワーク

参加者：東京からのボランティア参加 51名

東京からの事務局ボランティア 02名

三宅島現地事務局ボランティア 14名 計67名

プログラム

：お掃除件数 14件

島内視察 島民ボランティアによる島内一周視察



独居高齢者宅の掃除しにくい場所を中心に活動しました。また、掃除という作業だけではなく、島民の方々との交流もとても大切にしている活動です。

■運営体制の強化

◇財政体制の強化

東災ボの財政体制を強化するにあたり、会費納入の徹底を図ることが必須となっています。2009年度は、財政管理担当事務局員を置いたことにより、参加団体からの会費納入の管理が徹底され、納入額も増加しました。

2007年度会費納入額	¥ 865,000
2008年度会費納入額	¥ 1,122,000
2009年度会費納入額	¥ 1,254,000

◇事務局体制の強化

事務局体制の強化として、2009年3月より、月1～2回で、成清正信さんが非常勤事務局員としてお手伝いいただけることになりました。これで、常勤事務局員が2名、非常勤事務局員(会計担当・東災ボ TIMES 担当)が2名となりました。

常勤	事務局長	上原泰男
	事務局次長	福田信章
非常勤	事務局員	厚澤糸江 (会計担当)
	事務局員	成清正信 (東災ボ TIMES 担当)



2008年2月より、東災ボの会計を担当して下さっている厚澤さん。



2010年3月より、東災ボ TIMES 編集を担当して下さっている成清さん。

■事業推進に向けた機関運営報告

東京災害ボランティアネットワークは、2009年度も様々な事業を実施してきました。

東京災害ボランティアネットワークは、ネットワーク団体として各参加団体の方々と連携・協働して具体的事業に取り組み、事業の中で、団体間・組織間の役割や特徴に気づきつつ、「顔の見える関係」作りに努めてきました。そして、これらの事業はいずれもが、各種会議の中で、意見交換され、合意しながら取り組んできたものです。

ある意味、事務局会議や運営委員会が定期的開催できていることが東災ボの一つの役割といえます。

◇事務局会議の開催

- ◆第一回事務局会議 : 2009年04月27日
- ◆第二回事務局会議 : 2009年05月25日
- ◆第三回事務局会議 : 2009年06月22日
- ◆第四回事務局会議 : 2009年07月27日
- ◆第五回事務局会議 : 2009年08月24日
- ◆第六回事務局会議 : 2009年09月28日
- ◆第七回事務局会議 : 2009年10月26日
- ◆第八回事務局会議 : 2009年11月30日
- ◆第九回事務局会議 : 2009年12月22日
- ◆第十回事務局会議 : 2010年01月13日
- ◆第十一回事務局会議 : 2010年02月22日
- ◆第十二回事務局会議 : 2010年03月29日

◇運営委員会の開催

- ◆第一回運営委員会 2009年10月28日
- ◆第二回運営委員会 2010年05月19日

◇役員会の開催

- ◆第一回東京災害ボランティアネットワーク役員会 2009年12月01日
- ◆第二回東京災害ボランティアネットワーク役員会 2010年05月24日

また、事務局会議や運営委員会・役員会以外にも、各種事業のための検討プロジェクト会議や実行委員会（「帰宅困難者対応訓練実行委員会」「1.17 イベント実行委員会」など）の場が設定され事業に取り組んでいます。

2009 年度役員・運営委員

役員（順不同）

代表	山崎 美貴子	（東京ボランティア・市民活動センター）
	廣田 光司	（東京YMCA）
副代表	遠藤 幸男	（東京労働者福祉協議会）
	伊野瀬 十三	（東京都生活協同組合連合会）
	茅野 俊幸	（SVAシャンティ国際ボランティア会）
	青山 やすし	（明治大学公共政策大学院教授）
監事	高橋 学	（ふるさと荒川を創る区民の会）
	野島 怜	（連合東京ボランティアサポートセンター）

運営委員（順不同）

竹内 則夫	（東京ボランティア・市民活動センター）
金子 極	（中央労働金庫東京地区本部）
川本 晃義	（日本労働組合総連合会東京都連合会）
平野 陽子	（長寿社会文化協会）
関根 義雄	（障害者インターナショナル（DPI）日本会議）
北山 光治	（全国労働者共済生活協働組合連合会東京都本部）
市川 啓一	（株レスキューナウ）
佐々木 浩	（全国広域目黒チェアキャブを走らせる会）
鈴木 隆	（社会総合研究所）
白鳥 孝太	（SVAシャンティ国際ボランティア会）
筒井 優子	（日本赤十字社東京都支部）
生原 勇	（東京都生活協同組合連合会）
林田 浩	（練馬災害ドット・ネット）
細坪 信二	（危機管理対策機構）
沖 利柯	（東京YMCA）
南宮 成一	（東京YMCA）
小林 英夫	（自立支援センター ふるさとの会）
野田 宏人	（真如苑 SeRV）
丸木 敦	（西東京ボランティア・市民活動センター）

事務局

事務局長	上原 泰男
事務局次長	福田 信章